

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 17 日(2022.11.17)

【公開番号】特開 2021-86137(P2021-86137A)

【公開日】令和 3 年 6 月 3 日(2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報 2021-025

【出願番号】特願 2019-217569(P2019-217569)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28(2021.01)

G 0 2 B 7/34(2021.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

G 0 3 B 13/36(2021.01)

H 0 4 N 5/232(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 7/28 N

G 0 2 B 7/34

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 13/36

H 0 4 N 5/232 1 2 7

H 0 4 N 5/232 1 9 0

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 9 日(2022.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

画像から被写体を検知する第 1 の検知手段と、

画像から前記被写体の一部分を検知する第 2 の検知手段と、

前記被写体もしくは前記被写体の一部分を含む被写体の焦点状態を検出する焦点検出手段と、

前記焦点検出手段の焦点検出結果の履歴を保存する履歴手段と、

前記焦点検出手段により、前記第 1 の検知手段により検知された被写体の焦点状態を検出している際に、所定の条件に基づいて、前記第 1 の検知手段により検知された被写体から前記第 2 の検知手段により検知された被写体に、焦点状態を検出する対象を移すか否かを判断する判断手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

40

【請求項 2】

前記所定の条件は、前記第 2 の検知手段により検知された被写体の一部分の大きさであることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記所定の条件は、前記履歴手段に保存された焦点検出結果の分散であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記所定の条件は、前記履歴手段に保存された焦点検出結果から被写体が急加速または急減速していると判定されたか否かの条件であることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

50

## 【請求項 5】

前記第 1 の検知手段により検知される被写体は人であり、前記第 2 の検知手段により検知される被写体は人の顔であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

## 【請求項 6】

前記第 1 の検知手段により検知された被写体から、前記第 2 の検知手段により検知された被写体へ焦点状態を検出する対象を移した場合、前記履歴手段の履歴をクリアすることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

## 【請求項 7】

前記第 1 の検知手段により検知された被写体から、前記第 2 の検知手段により検知された被写体へ焦点状態を検出する対象を移した場合、前記履歴における前記第 1 の検知手段により検知された被写体を対象とした焦点検出結果を、前記第 2 の検知手段により検知された被写体を対象とした焦点検出結果に置き換えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

10

## 【請求項 8】

画像から被写体を検知する第 1 の検知工程と、

画像から前記被写体の一部分を検知する第 2 の検知工程と、

前記被写体もしくは前記被写体の一部分を含む被写体の焦点状態を検出する焦点検出工程と、

前記焦点検出工程による焦点検出結果の履歴を保存する履歴工程と、

20

前記焦点検出工程により、前記第 1 の検知工程により検知された被写体の焦点状態を検出している際に、所定の条件に基づいて、前記第 1 の検知工程により検知された被写体から前記第 2 の検知工程により検知された被写体に、焦点状態を検出する対象を移すか否かを判断する判断工程と、を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

30

40

50